

2025(令和7)年度 大阪教区重点プロジェクトの推進状況

<実践目標>

貧困の克服に向けて～ Dāna for World Peace ～ -子どもたちを育むために-

<達成目標>

持続可能な貧困支援活動の実践

<推進計画>

持続可能な支援システムの実施

- ①「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ^{まい}米プロジェクト
- ②バースデーケーキプレゼント・プロジェクト

(1) 実践目標達成に向けた取り組み（研修会、実践活動等）について

《達成度》

A. 順調

《取り組み内容》

- ①「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ^{まい}米プロジェクト

前期に構築したほっとけ^{まい}米プロジェクト奨励要項について、教区委員会のほか、組長や組委員長にも広報を行い、また計画書にも掲載して、各組各寺院において取り組んでいただけるよう周知を図った。

- ②バースデーケーキプレゼント・プロジェクト

専用チラシを作製し、教区内寺院や各教化団体の役職者へ配布し、広く参画を呼びかけた。

(2) 取り組みによる成果について

《達成度》

A. 順調

《成果》

- ①「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ^{まい}米プロジェクト

各組の寺院や教化団体において、継続してプロジェクトに取り組まれている事例も報告されており、広く地域に密着した活動が展開されている。結果、子どもたちをはじめ、多くの方に喜ばれている。

②バースデーケーキプレゼント・プロジェクト

支 援 先：児童養護施設 大阪西本願寺常照園

支 援 者：個人、グループ、寺院、組教化団体など

支援金額：1口 4,000円×96口

※約2口でバースデーケーキ1ホール分（配送料等経費含）計48人分

（3）取り組みによる課題・改善策について

《課題・改善策》

①「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ米^{まい}プロジェクト

各組や寺院、また複数寺院による取り組みが進められており、地域の施設へ協力できている事例もある。一方で、「近辺に該当する施設がない」との理由から参画に至っていないケースも見受けられる。そのため、教区として支援先の斡旋が可能であることを、今後さらに周知していきたい。

また、スタートアップ時の協議により、具体的な活動報告の提出を義務付けない方針としている。こうした「報告義務」の負担感を生まないことは、取り組みやすさにもつながっていると考えられる。しかしその一方で、教区内の活動状況の全体像を可視化できていないという課題もあり、今後の検討事項となっている。

②バースデーケーキプレゼント・プロジェクト

物価高の影響も踏まえ、支援に関わる方々の負担にも配慮しながら、さらなる支援先の拡充に向けて引き続き検討を進めていきたい。

（4）教区内の僧侶、門信徒の参画、実践について

《達成度》

A. 順調

《参画、実践状況》

①「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ米^{まい}プロジェクト

直接、間接的に、僧侶・門信徒が協働して活動できている。

②バースデーケーキプレゼント・プロジェクト

僧侶も、門信徒も広く協力をいただいている。